



交通事故の無い町、芳賀町に



熊谷 武男さん
(与能)

私は、芳賀町に在住して40年になります。私の在住する与能地区には、武道館・芳賀海洋センター・芳賀中学校があります。

近年、芳賀バイパスが開通し道路事情も良くなり、通行する車両も増加している中、芳賀中学校の南方の通学路は道幅も狭く、通学時には自転車と車両とのすれちがいに、危険を感じる所があります。特に冬季は、積雪時、自転車の通行が大変な所が見受けられます。

除雪されないと凍結時の自転車通行はかなり危険です。通学する生徒の安全の確保のため、道幅の狭い道路は早急に整備を進めてほしいと思います。

また、積雪時は除雪し、交通事故のないよう、町にお願いします。

子どもの視野を広げる環境づくりを



大萱 京子さん
(八ッ木)

先日掲載された新聞記事に私は愕然としました。それは『栃木県 小6算数全国最下位』というものです。私の息子も今年小学6年生で、このテストを受けていたために、この結果は本当に情けないと感じました。

芳賀町では、早い時期から補助教員がついて授業を行っていたり、外国語の授業を低学年のうちから取り入れたり、さまざまな取り組みをしてくださっていますが、この結果を見る限り、さらに学力を向上させる取り組みをするべきなのではないかと思います。

しかし、子どもたちに必要なのは学力だけではありません。スポーツや芸術、自然など多くの事に興味を持ち、視野を広げることが大切です。そのためには、家庭や学校、町全体の環境がどうあるべきかを考えていく必要があるのではないのでしょうか。

お年寄りに優しい町を



備前 英一さん
(西高橋)

広報はが9月号に、長寿の皆さんが掲載されていました。驚いたのは、100歳以上の方が8名いることです。皆さん元気で本当にすばらしいことと思います。平均寿命を見ると、栃木県は男性が38位、女性は46位で、短命県と言われているそうです。

「核家族」という言葉が出来てから、かなりたちました。当時は、それほど気にしない言葉でしたが、わが町でも確実に増えてきているように思います。万一、妻が病気になってもなったら、家事をしたことのない男性が困るのは食生活ではないでしょうか。県北の財政的にも大変厳しいある町では、1人暮らしのお年寄りに、見守り・安否確認をかねて、希望すれば週6日、1日1食わずか300円で弁当を提供しているとのこと、他所で暮らしている家族は、大変喜び安心しているそうです。

財政的にも非常に恵まれているわが町ですから、お年寄りが安心して暮らせるような取り組みを更に推し進めていただけたらと思います。